

# Space Japan Book Review

衛星通信研究者が見た

Reviewer: 編集顧問 飯田尚志

ヨシタケシンスケ: "りんごかもしれない", ブロンズ新社, 2013.  
ヨシタケシンスケ: "ぼくのニセモノをつくるには", ブロンズ新社, 2014.  
ヨシタケシンスケ: "りゆうがあります", PHP 研究所, 2015.  
ヨシタケシンスケ: "このあとどうしちゃう", ブロンズ新社, 2016.

前回の本欄で従来と違う話題として「武士道」を取り上げましたが[1], 今回も違う話題の第2弾として本書を取り上げてみました。本書は A4 版ほどの大型の本で、本屋で見かけたのがきっかけで知ったのですが、適用年齢については後述しますが、幼児向け絵本ということで見たのが始まりでした。今までとは全く異なる種の本ですので、どう書いたらいいかわかりませんが、とりあえず従来のフォーマットを踏襲して著者の紹介から始めることにします。

著者のヨシタケシンスケは 1973 年神奈川県生まれ、筑波大学大学院芸術研究科総合造形コース修了。イラストレーターとして児童書の挿絵、装画など多岐にわたる分野で活動しているほか、日常のひとこまをコミカルに切り取ったスケッチ集などの著書を著しているということです [2]。第 1 の「りんごかもしれない」が彼の初の絵本作品だということです。

では、どんな本なのか。第 1 の「りんごかもしれない」は学校から帰ってきた子どもが家の机の上に置かれた林檎を見て、もしかしたら林檎じゃないかもしれない、それじゃ何なのか、中にメカがぎっしり詰まったおもちゃかもしれないし、育てると大きな家になるかもしれないなど、いろいろ想像を発展させる話です。全部イラストで描かれていてしかも詳細に描かれているので、見て楽しいものとなっています。本書は 2013 年第 6 回 MOE 絵本屋さん大賞第 1 位を得ています。

第 2 の「ぼくのニセモノをつくるには」は、宿題、お手伝いなどでやりたくないことばかりでげんなりしていた子どもが、本人の偽物ロボットを使おうと思い立ち、ロボットを買ったことから話が始まります。ところが、そのロボットを本人そっくりとするため、ロボットに本人のプロフィール、好きな物・嫌いな物、できること・できないこと、などを教えることから始まり、自分がいろいろな機械システムであること、本人はひとりしかいないということも分かってくる話です。

第 3 の「りゆうがあります」は、普段駄目と言われている鼻をほじる癖、爪を噛む癖などの子どもの癖に理由があること、その理由が面白いものです。例えば、ごはんをボロボロ溢すのは、小さい不思議な生き物たちに少し分けて欲しいと頼まれているからだという訳ですし、一段高い縁石を歩くのは、木から降りられなくなった猫を見つけた時に助ける練習をしているからという訳です。

第 4 の「このあとどうしちゃう」は死んだおじいちゃんが付けていたノートに描かれていた死後の旅の予定、生まれ変わりたいものの絵、天国の図など、楽しそうな絵が詰まった話です。本書は 2016 年第 9 回 MOE 絵本屋さん大賞第 2 位を得ています。

いずれも絵が詳細で夢のあるものばかりなのですが、本の各筋立てに落ちがあり、いずれも母親との会話が想定されることによって現実に帰るものとなっていて、心が

落ち着くものがあります。

さて、本書は幼児絵本ですから、第3の「りゆうがあります」は4～5歳からとなっていますが、その他は推奨年齢は書いてありません。第1の「りんごかもしれない」を4歳の孫に読んであげたところ、もう一回読んでというような興味を示しました。一方、第3の「りゆうがあります」を読んであげたときには早速自分で応用し、駄目といわれた癖に対して「だって、これこれだもん」というように、話題の応用に発展させていたので、印象が強かったんだと思います。その他はまだ読み聞かせていないのですが、特に、第4の「このあとどうしちゃう」は死んだおじいちゃんのことなので、今のところ読み聞かせには躊躇しています。

最後に、本書は次のような衛星通信技術との関連の絵があります。第1の「りんごかもしれない」には「りんごアンテナ」と称する絵が描かれていますし、第2の「ぼくのニセモノをつくるには」にはパラボラアンテナが、第3の「りゆうがあります」にはびんぼうゆすりがつんとんとんとモグラと通信するためという絵があります。第4の「このあとどうしちゃう」の生まれ変わりたいものの絵には宇宙飛行士も含まれています。それから、第1の「りんごかもしれない」には電気回路と思われるものも描かれています。電気回路として動作するかどうかはちょっと不明ではありますが、

これで本書の紹介を終わりとしますが、楽しい話を読ませて頂いたという感じが残りました。

#### 参考文献

- [1] 飯田尚志: "Space Japan Book Review -衛星通信研究者が見た 新渡戸稲造, 矢内原忠雄訳: "武士道", 岩波文庫, No.青118-1, 1938.", Space Japan Review, No.96, Spring, 2017.
- [2] <https://ja.wikipedia.org/wiki/ヨシタケシンスケ>